

Good Job!! Nagasaki



今日のグッジョブ
[長崎県埋蔵文化財センター]

遺跡発掘と考古学研究の拠点施設



一支国博物館に併設された埋蔵文化財センターの収蔵庫の前に集合した14名の職員。後列左から4番目が岩永所長。写真手前の砂場は子ども向けの発掘体験コーナー



東アジア考古学研究室 古澤義久さん
長崎県は東アジアとの地理的・歴史的関係が深く、原の辻からは弥生時代の遺跡の中でも最大量の1,200点を超える大陸・半島系土器が出土しており、釜山博物館と共同で調査研究を行っています。また、東アジア国際シンポジウムを毎年開催し、研究成果を公表しています



調査課 片多雅樹さん
発掘した遺物は地表に出たとたん劣化が進むため、薬品や機械で保存処理を行っています。人間の医療と同じで遺物も一つ一つ症状が違うので、個々の状態をよく調べた上で慎重に処理しています。長崎県は時代によっていろんな遺跡があり、面白い発見も多いんです



土器の破片は拓本※で模様を写し取り、調査報告書に掲載している
※遺物に紙を密着させ墨を使い模様などを写し取る方法



より高度な調査研究を目指し、実体顕微鏡や三次元計測器、蛍光X線分析装置など日本有数の設備を備えている

【壱岐市立一支国博物館】

- 住所：壱岐市芦辺町深江鶴亀触515番地1
- 電話番号：0920-45-2731 ●開館時間：8:45～17:30(最終入館17:00)
- 休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)
※GWおよび夏休み期間は無休
※12/29～31 休館、今年2/26～3/1は臨時休館
- 常設展示室観覧料(入館は無料)

	個人	団体(20人以上)
一般	400円	320円
高校生	300円	240円
小中学生	200円	160円
壱岐市民	一般:300円/小中高生:無料	

※年間パス:1,000円

校の「東アジア歴史・中国語コース」への授業支援なども行っています。
「埋蔵文化財は、歴史・文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない国民共有の財産です。県内の遺跡内における発掘調査などへの県民の皆様のご理解をお願いします。」
今後も発掘・調査研究を進め、一支国博物館と連携しながら、文化財の保存・活用に取り組んでいきます。

県内の遺跡内で工事が行われる場合には、事前に埋蔵文化財の発掘調査などの必要な措置を行わなければならないため、担当職員は壱岐を拠点に、県内各地を駆け回って調査し、遺跡の状況を後世に残すために報告書を作成します。また、壱岐高

国の特別史跡「原の辻遺跡」を望む、壱岐市芦辺町の丘の上にある長崎県埋蔵文化財センター。平成22年の「一支国博物館オープンと同時に、県内の埋蔵文化財保護行政の中核機関として開所。所長以下、総務課、調査課、東アジア考古学研究室の2課1室の職員14名で、県内埋蔵文化財の発掘・調査研究や出土品の保存・活用、研修・普及啓発のほか、東アジアとの交流に視点を向けた考古学研究を行っています。

遺跡の発掘・調査から
活用、啓発事業まで